

2019年度事業報告書

学校法人葛谷学園

中和医療専門学校

して2019年度入試は3名（専1、柔整昼1、柔整夜0）であった。

4) AO入試の導入

近年の本校への入学志望者の減少及び推薦入試と一般入試に係る受験者数の比率等を鑑みて入試の早期実施を行う必要があるため、本年度にAO入試を専科と柔整科に導入した。出願者は専科4名、柔整科9名の計13名で全員、入学した。

5) 本科の試験実施時期

本科の試験回数は平成30年度より10月、11月、翌年1月の3回実施している（推薦除く）。2019年度はその時期を社会人ターゲットとして11月、翌年1月、2月に変更した。

2. 学校案内・募集要項の改訂

志願者数が減少する中で志願者をより多く確保するため、毎年度、記事の一部変更や写真の更新を行い、より良い内容のものとなるように改訂を行ってきたが、各部門で業務を行っていたため成果物に統一性が欠けていたため、2019年度は学校案内・募集要項とホームページとを同一業者に委託し、同じコンセプトの元、全面改定を行った。

3. 学校説明会（オープンキャンパス）の実施

数年、参加者数は230名前後と横這いであることや入学志望者の増加に連動していないため、2019年度はターゲットを絞った学校説明会を実施する目的と、入学志望者を増加させるために回数を11回に増やして開催した（新型コロナウイルス感染症により1回中止）。合計参加者数は286名であった。

実施内容は従前から評価の高い体験授業を充実させたこと、新規の取り組みとして運営スタッフをコアチームとしたこと、保護者説明会を設けたこと、夜間部説明会を開催したことである。

（参考 平成30年度：238名、平成29年度：234名、平成28年度：238名）

4. 学校訪問・進路相談会

2019年度の学校訪問先は、高校のほか、大学・短大（スポーツ系の学部や過去に受験実績がある）及びオープンキャンパスに参加実績がある学校等考に、6月3日から6月28日にかけて55校を訪問した。

また、高校内で行われる進路ガイダンスで希望者がいる学校への参加と愛専各や業者（マイナビ、さんぼう等）の主催する専門学校展へ計13回参加した（新型コロナウイルス感染症により中止となったガイダンス6回は含まず）。

（13回内訳：高校内ガイダンス9回、さんぼう3回、昭永広報他1回）

5. 広報活動の充実

2019年度は学校案内・募集要項とホームページとを同一業者に委託し、同じコンセプトの元、全面改定を行って志願者の増加を目指した。

ホームページへのアクセス数と資料請求数の増加は認められたが、学校説明会参加者数については一定の評価が確認できるが入学志願者数の増加が認められたとは言えなかった。なお従来から指摘のある費用対効果については「見える化」ができるように心がけた。

○広報活動の現状。

- ・学校案内等を卒業生や関係団体宛に送付。
- ・進学ネットサイト検索の充実（「マイナビ進学」：マイナビ）
- ・進学ネットサイト検索と、資料送付（「進路のミカタ」：マイナビ）
- ・進学ネットサイト検索の充実（「日本の学校」：JS コーポレーション）
- ・高校生にダイレクトメールの送付（JS コーポレーションより、約 2,000 名）。
- ・フェイスブック広告（社会人のアクセス数増加を目的として）
- ・進学ネットサイト検索の充実（「スタディサプリ進路」：リクルート）
- ・進学サイトのトップページにバナー広告提示（マイナビ）。
- ・社会人の医療系への転職希望者に対してダイレクトメールを送付（リクルートより）。
- ・学校説明会参加者及び業者アクセス者のリストをもとにダイレクトメール発送。

（3）生徒への取り組み

1. レクリエーションの実施

コミュニケーション能力を育み、クラス内親睦、学年の交流そして他学科の生徒とも友好的な人間関係を形成することを目的に、平成 30 年度に実施されなかった新入生歓迎会を 2019 年 5 月 28 日（火）に露橋スポーツセンターで全学参加し実施した。

2. 退学者予防対策

近年、本校の退学者が多いことを受け、業者による退学者支援制度を導入した。業者による教員向けセミナーの開催、学生向け質問紙によるタイプ別判定によって退学予備軍の抽出とその対応を図って、学期に臨んだ。

2019 年度の退学者数は 14 名（2019 年 4 月～2020 年 3 月）であり、有効であったか否かの判断は諸要件があるため次年度の課題とした。

3. 学生生活指導

従来から、入学次にオリエンテーションを実施している。平成 31 年度は、これに加えて「挨拶指導の徹底」「授業の受け方指導」などに取り組み、入学時のミスマッチ、単位未修得者の低減を図った。

4. 授業アンケートの実施

教員の授業を改善していく資料として役立てるために、本科・専科・柔整科の学生全員を対象に平成30年度に続いて授業アンケートを実施した。実施時期は前期と後期の試験週間の終了後とした。また教員へのフィードバックは個人のIDとパスワードを知らせ、各自で閲覧できるようにした。

5. 国家試験合格率100%をめざして

2019年度国家試験合格率100%を目指して、課外補修授業や模擬試験等の実施を行った。結果は「あま指師国家試験」では100%、「はり師きゅう師国家試験」では87.1%、「柔道整復師国家試験」では72.5%であった。年度末に総括を行い、次年度に反映させる。

(4) 就職への取り組み

1. 企業説明会の開催

卒業生の就職先の確保充実のため、2019年6月7日(金)に1号館2階(視聴覚教室、第1実習室、講堂及びホワイエ)において企業説明会を開催した。参加企業は54社であった。多くの学生が参加して盛況であった。

2. 就職相談会の実施

毎年度末の3月に実施している就職相談会は新型コロナウイルス感染症により中止した。

(5) 近隣地域との取り組み

1. 「私学を良くする愛知父母懇談会」との取り組み

私学を良くする愛知父母懇談会主催の企画に、本校を会場提供するとともに、二つの企画に2019年度も参加した。

○「初夏のつどい」 : 6月2日(日)

○「輝良ッ都フェスティバル in 稲沢」 : 11月17日(日)

本企画は県内の高校生と父母会が愛知県下の高校を主とした39会場で様々なイベントを開催しており、認知度が高いものである。

本校と「輝良ッ都フェスティバル」との係わりは、従来から行われており、本校の教員と学生による「マッサージ教室」の企画は好評である。また「初夏のつどい」についても平成28年度から参画しており、主催側のテーマに沿って教職員が対応している。

これらの行事は高校生が多く参加し、本校の存在をアピールする絶好の機会であり今後も積極的に関わっていきたい。

2. ボランティア活動の取り組み

外部から次のボランティア活動の参加要請があり学生と教員が参加した。

- ・愛知県高校陸上尾張大会（春）（秋）、
- ・ウェルフェア2019
- ・いちのみや市民健康まつり
- ・消防ひろば（稲沢市）
- ・レッキーマラソン（七宗町）
- ・みのかもハーフマラソン
- ・いちのみやタワーパークマラソン

なお新型コロナウイルス感染症により中止になったものは次の通り。

- ・読売犬山ハーフマラソン
- ・名古屋ウイメンズマラソン

II. 教育部門

（あはき科・はき科）

1. 教員研修会

（公社）東洋療法学校協会主催第43回教員研修会が2019年8月6日（火）～7日（水）に静岡の東海医療学園専門学校の主管で、ふじのくに千本松フォーラムプラザヴェルデにて「良き施術者を育てるために」をテーマに開催され、本校の常勤・専任教員6名が参加しました。

2. 学術大会

（公社）東洋療法学校協会主催第41回学術大会が2019年10月11日（金）に大阪医療技術学園専門学校の主管で大阪の「大阪国際交流センター」にて行われた。テーマは「明日への扉 - あはきの未来 -」でした。本校からは、「前額部低周波鍼通電刺激が美容に与える効果」と題したポスター発表を1題行いました。なお発表グループ生徒6名と引率教員2名が参加しました。

3. 基礎実習教育の充実

○専任教員と実習助手の2名体制

実技について2019年度においても、あはきの基礎実習（本科の1年次のあん摩基礎実習・はり基礎実習H・きゅう基礎実習H、2年次の指圧基礎実習・はり基礎実習H-II・マッサージ基礎実習・はり基礎実習H-III、専科の1年次のはり基礎実習S-I・きゅう基礎実習S、2年次のはり基礎実習S-II・はり基礎実習S-III）と1年次のあん摩応用実習Iについて、専任教員と実習助手の2名体制で授業を行い、実技の初動教育を充実させ、本校の特色とし、他校との差別化を図りました。

4. 担当科目の専門性と高度化

2019年度は、新カリキュラムが始まってから2年目にあたり、2年次の運動学I・II

の科目内容の見直しや経絡経穴概論の充実、新たな科目「現代医学臨床論」も立ち上がり、より生徒に対して充実したカリキュラム内容を進めています。

5. 国家試験補習講座・模擬試験の充実

①既卒者国家試験不合格者を対象に国家試験対策補習講座を週当たり2日開講（全60回）、既卒生国家試験合格率向上に努めました。また、受講者各個人について特に弱分野を分析し、各受講者に合った指導をしていくなどして、より一層の充実を図りました。

2019年度は、7名の希望者を受け入れ、5月9日（木）より水曜日・木曜日の週2回実施しました。

②3年生のうち、1年次・2年次の成績があまり良くない生徒26名を対象に、国家試験対策補習講座を授業後、時間外に5月14日（火）より月曜日・金曜日の週2回実施して在校生国家試験合格率向上に努めました。

③国家試験模擬試験の実施については、本科・専科3年生と既卒者の国家試験対策補習講座受講者を対象に合計4回実施しました。7月18日（木）では学内で作成した国家試験模擬試験（はき）を、11月15日（金）では（公社）東洋療法学校協会主催の統一模擬試験（はき）を、12月3日（火）では学内で作成した国家試験模擬試験（あはき）を、そして、2月5日（水）では理療科教員連盟作成の国家試験模擬試験（はき）を実施しました。

6. 特別講座の開講（カリキュラム外の講座）

2年生においては1年次科目の成績不良者（仮進級者）を対象に、特別講座A（解剖学・生理学）を週当たり2コマ（前後期各20回）ずつ開講し、前期30名、後期37名の生徒に対して進級や国家試験の合格率の向上に努めました。また、2年次の実技技術練習不足を補うため希望者38名を対象に特別講座C（あん摩・はり・きゅうの基礎実技）を週当たり1コマ（前後期各10回）開講し実技の補習を実施しました。更に、特別講座Dとして希望者を対象に後期のみで「トリガーポイント」及び「顔面マッサージ」を週当たり1コマ（計10回）を実施しました。

3年生に対しては、その希望者を対象に特別講座Bとして、前期のみで「美容鍼灸」、「経絡治療」、「トレーナー活動」及び「筋膜リリース」を週当たり1コマ（計10回）ずつ実施し、卒業後即戦力となる人材育成を図りました。同講座は、前期は5月7日より、後期は9月30日から順次実施されました。

7. （公社）東洋療法学校協会主催はりきゅう実技審査試験の実施

本科・専科3年生に対し、11月9日の土曜日の1日を使い、（公社）東洋療法学校協

会主催はりきゅう実技評価審査を実施しました。この試験には、(公社)東洋療法学校協会派遣のはりきゅう実技評価委員の先生5名が参加し、それぞれ先生方は、5ブースに分かれ、1人ずつ生徒が行うはり及びきゅうの実技を評価しました。合格者には、後日、学校協会から認定書が発行されました。

※(公社)東洋療法学校協会主催で「統一的な実技評価を目指した」あん摩マッサージ実技評価試験が9月29日(日)の一日を使い、本科3年生の生徒を対象に本校で行われました。なお、後日学校協会から認定書が発行されました。

8. 1・2年生学力試験の実施

1年生と2年生全員に対し、3月4日(水)に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施を見合わせました。

9. 解剖実習見学

本科・専科2年生を対象に5月23日(木)の午前と午後に分かれて、教員の引率のもと岐阜大学医学部において千田隆夫教授の指導を仰ぎながら解剖実習見学に参加しました。

10. 救命救急講習会の実施

本科・専科2年生を対象に、9月24日(火)・25日(水)・26日(木)の3日間の日程で各クラスを振り分けて、本校において稲沢消防署職員の方を講師に心肺蘇生法(CRP)・自動体外式除細動器(AED)の使用法を中心とした救命救急講習会(4時間)を実施しました。

11. 臨床実習前施術実技試験の実施

本校では、本・専科2年生の1月から中和医療専門学校附属治療所での臨床実習が始まります。そこで、附属治療所に入室する前に2年生を対象に実技試験と臨床に関する学科試験を行いました。なお、この実技試験は、今年度より新カリキュラムの中で必須となっております。本科・専科の生徒の共通の課題として、はり実技、きゅう実技及び経穴指示、さらに本科の生徒には按摩の実技の試験を、さらに、本科・専科2年生全員に学科試験を、11月16日(土)の一日を使い実施しました。

12. 学科検討会議の実施

学科科目については、常勤教員と非常勤講師のうち学科を担当している教員を集めて本校の会議室で年2回[4月3日(水)と10月3日(木)]学科検討会議を実施し、学科科目の内容の精査や進行度合いなどを話し合い学科シラバスの充実に努め、生徒の基礎学力の向上を目指しています。

13. 実技打合せ会議の実施

実習科目については、常勤教員と非常勤講師のうち実習を担当している教員を集めて年3回〔4月4日（木）・8月30日（金）・12月20日（金）〕実技打合せ会議を実施し、実習科目の内容の精査や進行度合いなどを話し合い実習シラバスの充実に努め、生徒の実技技術の向上を目指しています。

（柔道整復科）

1. 教員研修会の参加

第61回（公社）全国柔道整復学校協会主催教員研修会が令和元年8月24日（土）、25日（日）に赤門鍼灸柔整専門学校が主管校となり、ホテルメトロポリタン仙台で開催された。本校からは教員4名が参加した。

2. 柔道大会の参加

①第12回愛知県柔道整復専門学校柔道大会が6月16日（日）に愛知県武道館で開催され本校からは引率教員1名、スタッフ6名（顧問、監督、コーチ、トレーナー）、選手生徒4名の計11名が参加した。

②第52回（公社）全国柔道整復学校協会主催柔道大会が平成30年8月6日（火）に東京武道館で開催された。本校からは引率教員1名、スタッフ5名（顧問、監督、コーチ、競技役員）、男子生徒が6名（三部）、女子生徒が3名（二部）の計15名が参加した。

③校内柔道大会が12月12日（木）に4号館柔道場で開催した。全学年を対象に男女共、クラス選抜で参加した。

3. 認定実技審査の実施

（公財）柔道整復研修試験財団による認定実技審査（柔道整復実技と柔道実技）が令和元年12月1日（日）に本校4号館で開催された。平成30年度から審査内容が変更されたため「中和式認定実技マニュアル」小冊子を新たに作成し、それを生徒に配布して実技指導にあたった。受審者41名全員が合格した。

4. 補講講義の実施

学力向上対策の一環として1年生には基礎学力試験を課し基準に満たない生徒に対して基礎学力向上を目的とした講座を通年で実施、2年生には1年次単位未修得者に対して補講を通年で実施、3年生にも1・2年次単位未修得者に対して補講を通年で実施した。

5. 国家試験対策の充実

国家試験対策として2年生に実力試験を2回実施、3年生にも模擬試験を2回実施した。さらに3年生には2月に外部模擬試験を受験させると共に、必修問題（合格基準、正解率80%以上）対策の授業を組み込み全員国家試験合格を目指した。

6. 臨床実習施術前試験等の実施

カリキュラム改正に伴い臨床実習が学外で行えることになり、1単位を目安に実施予定。

これにともない臨床実習施術前試験等を行い生徒の習熟度を測ることが必要となった。令和元年12月8日（日）柔整科2年生を対象に実施した。

7. 実習の充実

- ①柔道実技において傷害防止と習熟度向上を目的として指導者3人による集団指導体制を平成20年度に導入しており、令和元年度も引き続き実施した。
- ②附属接骨院においては平成22年6月から名古屋文理大学ハンドボール部の学生が、臨床実習の時間に来院することとなった。このことにより臨床実習を行う時の患者確保に繋がり、充実した臨床実習の場を提供できる素地ができた。
- ③解剖見学実習を5月21日（火）に岐阜大学医学部解剖実習室で行った。解剖学講座の千田教授の指導のもと柔整科2年の31名が参加した。
- ④救急救命（AED）講習を7月30日（火）に稲沢市消防職員の指導のもと柔整科2年の31名が参加した。修了証を全員取得した。
- ⑤医院見学実習を名古屋駅近くの米田医院の協力を得て行った。8月3日（土）に柔整科3年生の1名の生徒が実習を行った。院長とスタッフ指導のもと貴重な体験をすることができた。

8. 専門科目教員会議の実施

専門科目教員による会議を第1回は平成30年4月4日（木）に第2回を平成30年12月20日（金）に開催し学習内容の向上を図った。

9. 特別講演の実施

- ①接骨院開業準備セミナーを7月30日（火）に柔整科3年生を対象に講演をおこなった。他校の柔道整復学校協会会員校で経営の講義を担当している専門の講師に依頼した。
- ②超音波セミナーを7月31日（水）に柔整科3年生に講演を行った。
- ③1年生特別講演を7月31日（水）に柔整科1年生を対象に本校卒業生より柔道整復師の取り扱う外傷について実技を交えて講演を行った。